

## 非稼働病棟を有する医療機関への対応について

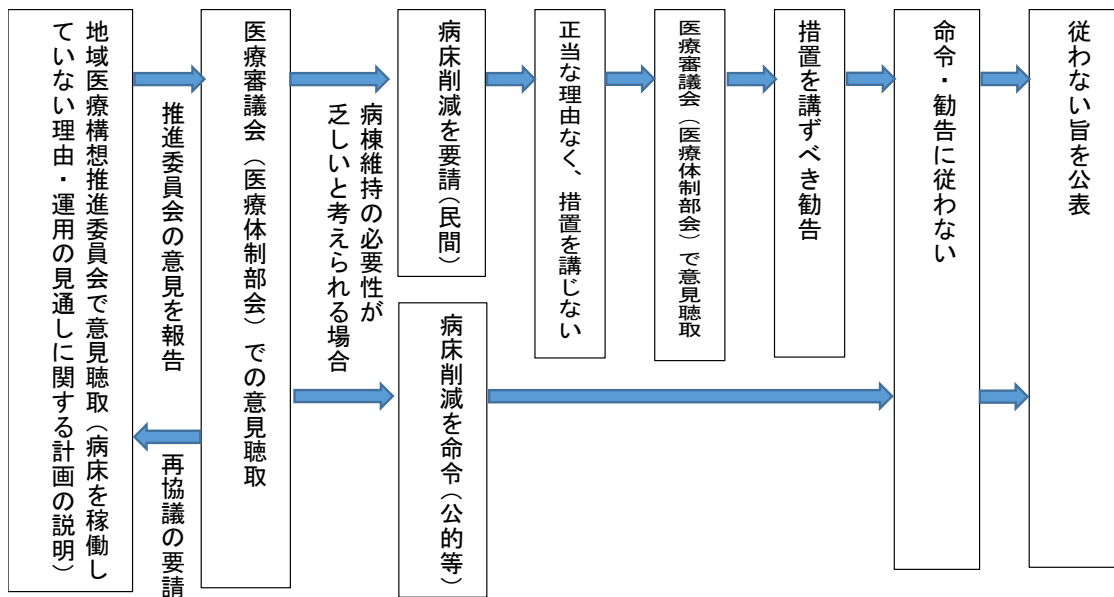
### 1. 経緯

- 本県では、令和3年3月8日付け2医計第931号愛知県保健医療局長通知「非稼働病棟を有する医療機関への対応について」を发出し、病床が全て稼働していない病棟（過去1年間に一度も入院患者を収容しなかった病床のみで構成される病棟。以下「非稼働病棟」という。）に関する取組を、以下のとおり進めていくこととしている。

### ＜愛知県における非稼働病棟を有する医療機関への対応＞

- 病床過剰地域に所在し、以下のいずれかの条件に該当する病院に対して、国通知に基づく対応を進める。
  - ①病床の開設許可後（新規開設、変更許可含む）、1年経過後においても、稼働していない病棟を有する病院
  - ②5年以上、稼働していない病棟を有する病院（上記の条件に該当しない医療機関については、これまでどおり各地域の地域医療構想推進委員会において、取組の方針を決定する。）
- 新型コロナウイルス感染症の影響で、一時的に病床稼働率が減少したことによる非稼働病床に関しては、留意の上、取組を進める。

（参考）国通知に基づく対応



## 2. 名古屋・尾張中部構想区域における進め方

- 名古屋・尾張中部構想区域で、上記条件に該当する病院は6施設。
- 該当の6病院に対し、事務局から書面にて非稼働病棟に関する意向（再稼働又は削減の予定、時期等）を照会。
- 照会の回答を基に、以下のとおり取組を進める。

（再稼働の場合）

今後、ヒアリングを実施し、委員会の意見を聴取する。

（削減の場合）

削減時期を明示の上、委員会に報告する。

※ 報告された時期を過ぎても削減されない場合はヒアリングを実施

## 3. 意向調査の結果

	病院名	非稼働病棟	今後の予定	時期
1	名古屋市厚生院	36床	削減	2023年4月
2	名古屋市立緑市民病院	95床	削減	2023年4月
3	東名古屋病院	41床	削減	2027年3月
4	野垣病院	39床	再稼働	2023年4月
5	大平病院	21床	削減	2022年3月
6	紘仁病院	28床	再稼働	2024年4月

※ 再稼働予定の医療機関

・野垣病院

再稼働後の機能	医療需要を鑑みながら急性期、回復期、慢性期を検討中
非稼働の理由	医師・看護師不足のため
再稼働に向けた取組	愛知県地域医療構想に沿って、回復期～慢性期の診療機能を追加するべく、肛門科以外の診療科医師、看護師のリクルート活動中

・紘仁病院

再稼働後の機能	回復期
非稼働の理由	看護師不足のため
再稼働に向けた取組	看護師の募集強化